

草間彌生展（国立新美術館2月22日～5月22日）は大人気でした。話題を読んだオレンジのおかっぱの草間さんのポスターは強烈でしたね。その効果もあつてか平日でもチケット売り場は長蛇の列。

御歳88歳の世界的にも評価の高い前衛芸術家である草間さん（実は80年代前半に何回か一緒に過ごしたことがあつて、何となく「さん付けに）は日本においては岡本太郎氏亡き後、最も一般に知られているご存命の芸術家です。なにせ開幕前には「嵐」の大野智くんと対談するという仕掛けでメディア発信するのですから。とにかく会場はいろいろな人達で溢れていました。若者や外国人も目立ちますが、明治座や演舞場で見かけるようなおばさま達も何と多いことか。皆さん熱心に前衛芸術を鑑賞しています。この草間人気の層の厚さは他の芸術家ではみたことがありません。

展覧会は草間さんの集大成にして、最大級のもの。水玉、ネット、男根、かぼちゃとおなじみの草間ワールドが展開されます。けれども圧巻は194cm四方のキャンバス130枚が広大な展示室の壁面を詰め尽くす、日本初公開の新シリーズ「わが永遠の魂」の展示です。

『まだまだ攻めの人生が——迫力の草間彌生展』

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura

一枚一枚がオレンジや黄色やライトグリーンなど明るくはつきりとした色使いで、アフリカの原始美術を思わせるようなタッチです。それが130枚の束になって、人々を包み込むのですから、強烈な高揚感を生む空間になっています（展示の仕方が素晴らしいので是非ネットで検索して、画像をみてください）。

グッズの売れ行きも絶好調で、一番人気は水玉のトートバッグだそうです。会計にはチケット売り場以上の列が続いていました。

88歳の草間さんは「わが永遠の魂」シリーズを3日に一枚描きあげるペースで創作活動し、既に520枚描いています。凄まじい気力、体力、集中力です。オレンジのおかっぱの下に見せる超迫力の目力は想像力、創作欲が年齢とは関係ないことを私たちに示しています。そう私たちにも攻めの人生がまだあり得るということ。



「35歳からのダイエット革命」
(Discover21)
定価1,404円(税込)
好評発売中



Profile

広島生まれ東京育ち。青山学院文学部英米文学科卒業。
学生時代よりコマーシャルモデルとして活躍、その後テレビ司会者や経済インタビューとして活躍し、渡米。10年間メディア活動を休止。その間カリフォルニア大学で「NPOマネジメント」及び「ジェロントロジー（加齢学）」を学び、「エイジング・スペシャリスト」として再びメディア活動に復帰。「能動的・精神的・美的加齢法」をベースに医療や心理学、社会学等最先端情報と連携しながら、多くの方々と共に年齢を積み重ねることの楽しさ、自信、そして若々しさ、美しさを育てる「アクティブ・エイジング」を提唱する活動を行っている。現在、NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、日本抗加齢医学会正会員などで活躍中。